



て る ひ つ と



No. 14

2008.3

京都府海外研修KYOのあけぼの会



ごあいさつ

海外研修KYOのあけぼの会
会長 田中 田鶴子

会員の皆様におかれましては、日々各方面で
ご活躍のことと存じます。

日頃は、当会の活動に深いご理解とご協力を
賜り心から感謝申しあげます。

さて、昨年は「スイス・チューリッヒ、ジュネーブ」への研修旅行に、21名という大勢の参加を得て、大変充実した研修旅行を実施することができました。本当にありがとうございました。

また、帰国後の報告の場となる、「KYOのあけぼのフェスティバル・ワークショップ」にも、多くの方が私達の発表に耳を傾けてくださいました。ラング・イボンヌさんとの繋がりをきっかけに実現したスイス女性との交流会、実際に行動して自分達の目で見て経験した事を、多くの人々に学んでいただき知っていました。そして、この発表をお聞きいただいたことがきっかけで、2月10日には、福知山市連合婦人会様の実践活動交流フォーラムにおいて、再び発表

の機会を得ることが出来ました。こういった活動の連鎖こそが、当会が目的とする、女性関係団体相互のネットワークづくりや国際交流の促進といえるのではないかでしょうか。

今後とも、このような活動の連鎖を多く生み出すためには私達一人ひとりが「人とのつながりを大切にして、学び続けること」や「実際に行動すること」そして「まわりの多くの人に伝えること」等々、こういった精神を持って実践することが必要であると思います。

最後になりましたが、ご承知のとおり、今年は『源氏物語千年紀』と題して、様々な事業が京都を中心に開催されます。そこで、私達の今年度の研修テーマを源氏物語千年紀に焦点をあて、紫式部ら平安女性の偉業を、女性の目線から様々な角度で研究し、現代社会が失いかけていた大切な何かを汲み上げる機会になればと考えております。

会員の皆様の更なるご理解とご協力をいただき、女性の和がさらに大きくなることを願っておられます。

2007年度総会及び研修会

●日時：平成19年4月23日(月)11:00～16:00 ●場所：京北商工会館

総会

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 来賓紹介
4. 議長選出
5. 議事
 - ①2006年度事業報告
 - ②2006年度会計決算報告
 - ③2006年度会計監査報告
 - ④2007年度事業案(審議)
 - ⑤2007年度予算案(〃)
 - ⑥その他



研修会

春の京北をたずねて

伏条台杉・常照皇寺・御車返桜・100年桜・古民家などを見学
ボランティアガイドによる説明を受ける

表題「てるひつ」とは、前京都府知事荒巻慎一様の直筆で、インドネシア語(京都府友好国)「あけぼの」の意味です。
京都府に息づく豊かな自然の美しさ、「花」したれ桜、さが菊、「木」北山杉。「鳥」オオミズナギドリ。戸塚フランス刺しゅうで表現したものを作成しています。

ごあいさつ

京都府府民労働部女性政策監
高田 みどり

海外研修KYOのあけぼの会の皆様
方には、日頃から、京都府の男女共同
参画行政の推進に格別の御支援と御協
力を賜り、深く感謝申し上げます。

会員の皆様におかれましては、昨年「スイス・チューリッヒ、
ジュネーブ」において、我が国にとっても重要な課題である
社会環境、政治、教育、人権問題、福祉各分野で活躍され
ている方々との交流会や、福祉、教育等の施設の視察を中心
とした研修旅行を実施され、その先進的な取り組み等を
KYOのあけぼのフェスティバルのワークショップで発表をして

いただきました。たいへん示唆に富んだ内容で、福知山市連
合婦人会の研修会においても発表されるなど、国際交流だけ
でなく、女性団体相互のネットワークの構築にも大きな役割
を担っていただいております。

京都府では、人を大切にし、人と人がつながり合う地域
社会を築くため、「地域力の再生」を府政の最優先課題と位
置付け、積極的に施策を展開しているところですが、このよ
うな地域力の再生に取り組んでいる方々の中においても女性
の活躍はめざましいものがあり、女性も男性もいきいきと活
躍することができる男女共同参画社会の実現こそが、まさに
「地域力の再生」の大きな力になると考えております。

今後とも地域社会のリーダーとして、京都府の男女共同参
画社会の実現に御理解と御協力を賜りますようよろしくお願
い申し上げます。

春の総会及び研修会

日時：平成19年4月23日(月)11:00～16:00
場所：京北商工会館 春の京北めぐり

京北の美しい自然と心温かさに触れて

日本の一番美しい季節に京北での総会そして研修会に参加した。総
会も終わりお楽しみの昼食は「春の山菜花見弁当」ご当地の会員前田
芳子さんの手作り。糸の布袋に入った曲げの二段弁当。山菜の炊き込
みご飯に、ごごみや蕗のかき揚げ、芹と菜の花のおひたし、筍の木の
芽和え、いたどりの炒煮、桜の葉のういろ等々。初めて口にするもの
もあり、どれも心温まる美味しさだった。

100年桜は丁度満開で美しく風に揺れていた。ボランティアガイド

さんの説明をお聞きしながらの見学。この樹は山桜の突然変異で一重
と八重の花びらを付いていると。桜の木は樹形を整えながら成長
すると言う。この樹は人が踏みつける方の枝が弱々しく見えるとおっ
しゃっていた。静かな山間の京北、今芽吹こうとしている山々が美しく
動いているように思えた。いろいろ心尽くしの研修会、有難うございました。

目崎 節子

2007年度 海外研修KYOのあけぼの会 総会・研修会

昔、お医者さんの家であったという古民家を訪れ、いろいろの周りで陶芸品を見、美味しいコーヒーをいただきました。

常照皇寺の門前の桜も満開で、京北の素晴らしいを改めて目の当たりにしました。

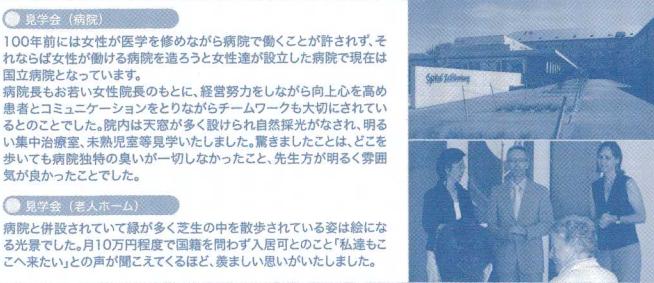
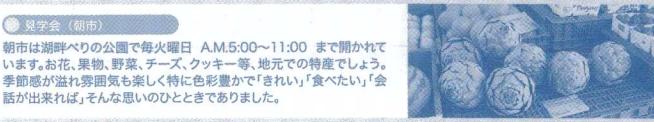
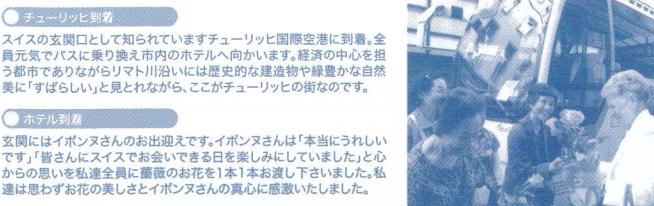
何よりも素晴らしいことは、ボランティアガイドをして下さった一瀬さんと井本さんの、京北が好きでこの地域の良さを人に伝えたいという情熱でした。

この心がその地域を活性化してゆく源となるでしょう。

お陰で私たちは今まで知らなかった京北の良さを味わい、企画し案内していただいたことに感謝して帰途に着きました。

大野 三恵子





海外研修KYOのあけぼの会 スイスの旅に参加して

中原 康子

無事帰国して早、一週間が過ぎ、やっと疲れがとれて来たようです。今スイスの雄大な山々の地図を改めて見て思い出にふけっているところです。3,571mというユングフラウヨッホトップオブヨーロッパに立った時の感動、登山電車の中から眺める百万ドルの風景が忘れられません。ビデオも何回も見て楽しんでおります。

皆様と楽しく熊野古道に次いでこのスイス旅行に参加させて頂き感謝しております。そして普通では味わえない特別プログラムではイボンヌ様や若奥様とのすばらしい交流がもて普通の常識しかもっていなかった私にとってスイスのお国の方が大へんよくわかり勉強になりました。また小学校訪問ではあどけない可愛い子供達にカメラを向けると楽しくポーズをとってくれました。教室では授業内容がそれぞれ先生によって個性的でした。病院訪問、老人ホームのお話も意義深いものでした。何と云っても私は初めて見るアルプスの雄々しい姿に魅せられました。残念ながら天候が悪く全景が見えなかったのですが時々その姿を現してく

チューリッヒの女性との友好交流

—ジュネーブ国際連合欧州本部見学を通じて日本が学ぶもの—



海外研修KYOのあけぼの会 スイスの旅に参加して

憧れの～ スイスに行く!

伊藤 悠美子

ご近所であり親戚の伊藤さんに誘って頂き、只々“スイス”に行く! 憧れの～ 喜びだけで参加申し込みしましたが旅のしおりを読むにつれ私みたいな者がこの様な高度な方々の集まり、しかもスイスの名士の方々との交流会などとても場違いな気持ちになり本当に参加させてもらっていいのだろうか? 疑問を抱いたまま出発～

でも現地のイボンヌさんの分け隔てない温かい歓迎を受

れました。クライネシャイデックではアイガーの頂上も少しの間見えカメラに収めることができました。そして可愛い高山植物の数々、広々とした高原の風景には本当にゆったりして心が広がります。自然が大好きな私にとって最高でした。ジュネーブも一度行ってみたいところでした。美しいレマン湖のほとりの国連ヨーロッパ本部を見学することができ、国際色豊かな町の様子も見聞することができました。価値ある旅でした。後になりましたが会長様初め役員の方々には心より御礼申し上げます。

又、インターラーケンの町の美しさ、雄大なアルプスユングラウヨッホでの氷河の中での見学、何もかも初めての事、感動の一言でした。ジュネーブの国際連合本部の見学等、この旅に参加させて頂き多くの方々と出会いとてもいい経験をさせて頂きました。

最後にこの旅行の行程、計画をお世話に成りました役員の方々に厚く感謝しこれからの自身の生き方向向上に少しでも役に立てるよう勉強して行きます。本当に皆様ありがとうございました。

大感激のスイス旅行

伊藤 篤子

スイスが共和国とは知っていたが、ヘルベチア共和国という本名があったとは知らなかった。また共和国の中には

2007.6.17～23
海外研修KYOのあけぼの会
京都商工会議所女性会



それぞれドイツ語圏、フランス語圏、イタリア語圏、レイトロマン語圏が存在し、はっきりと言語や生活習慣の違う人達の集団が集つて一つの国を形作っているとは、さらに驚きであった。ヨーロッパの中心にあり、フランスの隣りで、フランスナンバーの車で、仕事に通つていて、四方海に囲まれている日本ではおよそ考えられないことで、陸続きの国との共存共栄ぶりを目のあたりにすることが出来た。

酸素量が薄くなつてくる中を鉄道が氷の中まで連れて行つてくれた。氷河の上には立てなかつたのは、とても残念だったが、雄大な氷河を眼下にしたのは想像を絶する迫力だった。今も眼をつむればスイスでの様々な風景が思い出される。いつまでも私の心から離れることはないだろう。

最後になつたが、イボンヌさんのお陰で通常の観光旅行では、とても経験できないであろう色々な施設の見学もさせて頂けたことは、何よりも大きな収穫であったと思う。感謝の気持で一杯である。

第19回 KYOのあけぼのフェスティバル2007

～地域の力で育む命～

日時 平成19年10月13日(土)10:00~15:30
10月14日(日)10:00~15:30

場所 京都テルサ
京都市南区新町通九条下ルTEL075-692-3400

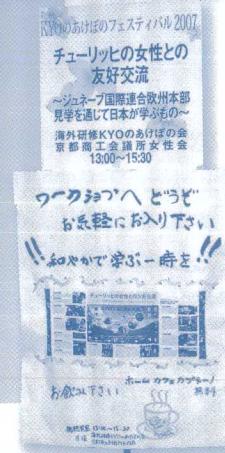
主催 海外研修KYOのあけぼの会・京都商工会議所女性会

チューリッヒの女性との友好交流 ・ジュネーブ国際連合欧州本部見学を 通じて日本が学ぶもの

例年海外研修KYOのあけぼの会と京都商工会議所女性会との共催で研修旅行を実施し訪問先での学習体験を実践活動に展開する趣旨を目的とする。

- 研修内容のDVD映像を制作する。(成果発表)と(学習発表)
- 少しでも多くの人に観賞してもらい関心の渦を広げる。
- 資料・掲示物等並べる。

- 総合司会：福島 宣子
- 挨拶：田中 田鶴子
- DVD上映
- パネラー報告会 保健福祉・年金制度等：岡本 薫
教育問題：松石 三重子
観光：一瀬 裕子
国際連合ヨーロッパ本部：奥谷 かわる(商工会議所女性会)
- 閉会挨拶：西尾 陽子(商工会議所女性会)



福知山市連合婦人会 実践活動交流フォーラム参加

岡本 薫

2008年2月10日、福知山市連合婦人会の実践活動交流フォーラムの場において、イスの旅友好交流会の報告を再度発表する機会を頂きました。

女性組織のネットワークを通じて、より多くの人たちに私たちの活動の一端を知ってもらえる喜ばしいチャンスです。

当日は、京都市内とその近郊は思いがけない大雪となり、京都駅から山陰線で久しぶりの汽車に乗りました。超満員の汽車は、連休で丹後方面に行かれるカニツアーの人々で活気づき、私たちの気持ちとそぐわない雰囲気を醸し出していましたが、福知山駅は雪もなく、よいお天気で、見事な美しい虹に迎えられ、ホッといたしました。今朝の雪は俗に言う口雪だったのでしょうか。

田中会長のメッセージ披露の後、DVDでイスの旅を鑑賞、私たちの紹介、それぞれの担当分野の報告、フロアからの質疑応答と、拍手も熱く大変盛り上がった雰囲気の中で、任を終えました。私たちのイスでの出会い、体験、感動を、会場の皆さんにも実感していただけたように思いました。

帰りの汽車はいわゆる鈍行、各駅停車でしたが、おしゃべりをしながら、これも嬉しい意義ある交流となりました。改めてよい機会をいただいたことに感謝いたしております。
ありがとうございました。

10日、市民会館ホールで
福知山市連合婦人会は
今年度の実践活動交流フ
ーラムを開き、学区単
位で活動する各組織の代
表が、それぞれの取り組
みを発表した。市内の婦
人会員ら約200人が参
加した。市内の婦
人会員ら約200人が参
加したのは、保存食
作りなどスローフードに
取り組む惇明、ホタルの
ふるさとづくりを目指す
遷喬はじめ、上豊富、
鶴部、川口、金谷、修齊
の7学区の婦人会、実践
活動報告として、組織単
位での活動地域に広げ
る取り組みを紹介した。
このあと、海外研修K
YOあけぼの会、京都商
業会議所女性会のメンバ
ー4人がパネラーとな
り、イスのチューリッ
ヒ訪問交流の様子と、
イスの福祉や年金制度な
どの話をした。

7学区の代表が 実践活動を発表

市連合婦人会交流フォーラム



市民会館で開かれた
フォーラム

平成20年度 海外研修KYOのあけぼの会

国内自主研修旅行のお誘い

海外研修KYOのあけぼの会は、ご承知のとおり京都府が実施した女性海外研修事業の修了生と女性関係団体相互のネットワーク作りを目的とした参加者を対象に国際交流を促進することを目的に隔年ごと国内外を訪問してまいりました。

本年度は国内交流研修の運びとなっております。

訪問先での交流学習を私たちの社会生活の改善の場や地域活性化へ向けての活動推進に結びつける目的であることを願っています。

記

●日程

2008年6月16日～17日<2日間>

●行き先予定

- 世界遺産の石見銀山と名湯玉造温泉
- “もったない”の風に吹かれて町歩き（大森町重要伝建地区指定）歩きたくなる道
- “家の女たち”「女たちの手」で重要文化財住宅を立ち上げかかわった熊谷家訪問と女性パワーを学ぶ交流会

行程と詳細は追ってお知らせいたします。皆様お誘いの上多数のご参加をお願い申し上げます。

編 集 後 記

KYOのあけぼの会海外研へ深い理解と協力を賜り本年度も会員相互の和と強いパワーによります事業の取り組も充実した内容で一つ一つを盛り上げることが出来ました。心よりお礼申し上げます。

昨今の情勢があまりにも目まぐるしく激変する時代でありますだけに先行きが不透明、不安材料が重く伸びかかっています。

海外研の私たちも国際社会人として21世紀をどう生きどう見据えていくのか激動の世紀そのもの大きな課題でもあります。

国際化する国際的な視野での私たちの思考が小さな行動での種まき作業や力を合せる絆づくりとなってマイナス面の多い市民社会人として訴える一面の輪が広がることを願っています。

お一人でも多くのご参画をお願い申し上げます。

発行責任者
(海外研修KYOのあけぼの会役員一同)